

実践例「学習指導の深化・充実」

「課題6 主体意識をもって仲間と共に高め合う学習過程の改善と充実を図る」

I 学校名 室蘭市立喜門岱小学校【胆振管内】

II 研究の概要

1 研究主題

自ら学び、考え、共に高め合う子の育成

～学びを自己調整しながら、自立的に生み出す授業づくりを通して～

2 研究の重点

- ① 授業においてタブレット端末を効果的に活用する学習活動を中心として、児童が主体的に学ぶための指導法のあり方や工夫、また、複式授業の授業改善について実践を通して蓄積し、その交流を図る。
- ② 実践に生きる校内研修を計画し、実施するとともに、校外における研修への自発的な参加を促す。
- ③ 子どもたち一人一人を生かした教育活動の充実をめざし、学級経営の交流を図る。

3 研究の視点

- ① タブレット端末を効果的に活用した、思考力・判断力・表現力の育成
学びを自己調整することで主体的・対話的で深い学びを行う授業づくり
- ② 自分の考えをどのように広げ、深め表現していくか。
リーダー学習の確立（※含む「(仮)伝え合いカード」）
情報の取捨選択とまとめ方（※含む「ICT」の多様な活用）
- ③ 授業実践の積み重ねによる指導力向上
研究授業に参加する教員それぞれが授業案をもち、主体的に研究に取り組む

4 研究計画

1年次（2025年度）	2年次（2026年度）	3年次（2027年度）
<ul style="list-style-type: none">・主題や副題、めざす子ども像の設定・理論研究（複式授業の基本、学習規律、タブレットの活用について）・研究の重点～研究内容の設定・指導案の様式の設定・研究授業を通じた検証・校内研修の成果と課題の検討	<ul style="list-style-type: none">・前年度の成果と課題をもとにした、研究の重点の見直し・理論研究（教科書の目標・評価、タブレット端末の活用、複式授業について）・研究授業を通じた仮説の検証・校内研修の成果と課題の検討	<ul style="list-style-type: none">・前年度の成果と課題をもとにした、研究仮説・研究の重点の見直し・理論研究（複式授業・効果的なタブレット端末の活用について）・校内研修の成果と課題の検討・研究のまとめ・次年度からの研究の方向性

Ⅲ 今年度の校内研修の取組

今年度は、学びを自己調整することで主体的・対話的で深い学びを行う授業づくりを目指して、以下の校内研究授業を行った。

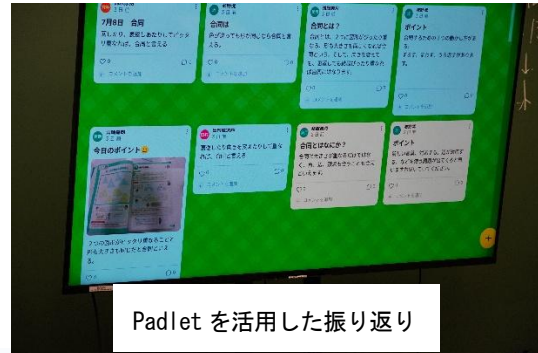
1 Ⅲ教室（5・6年生）における授業研究（7月11日）

5年生は「合同な図形」、6年生は、「場合を順序よく整理して」について、自由進度学習の形式を取り入れながら授業を行った。

特に、5年生の授業では、Padlet を活用しながら振り返りを行った。また、授業の最初に、前時の振り返りを活用した対話の場面を設定した。

自分のペースに合わせて学習を進めることができたが、対話する場面が自然に生まれづらかった。

また、交流に特化した時間や一斉指導の時間など設定していくことも必要であることが課題としてあげられた。



Padlet を活用した振り返り

4番 名前										
単元の課題：「合同とは何か」										
①やってみる・・・問題をやったら（自分の感覚で△や×でもよい）										
②できる・・・そのページが完璧にできたら◎										
③パドレットに振り返り・・・「合同とは何か」を考えてパドレットに自分の理解を書く。										
学年	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日
4番	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日
①やってみる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②できる	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
③パドレットに振り返り	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

各自が、自分の進度を記録しながら学習した。

2 Ⅰ教室（1・2年生）における授業研究（10月27日）

1年生は「ものとひとのかず」、2年生は、「見方・考え方を深めよう かっても まけても！！」についての授業を行った。

この授業では、学習前に単元の学習計画を児童に立てさせて、自分の立ち位置を理解させたうえで学習に入った。2年生は、2名のため自分たちで話し合うことで学習計画を立てることができたが、1年生は1名しか在籍していないため、担任との確認をし、学習の見通しをもたせるようにした。

自分たちで黒板に文字を書いて学習を開始したり、「今日で（単元が）終わったね」の発言が聞かれたりするなど、自分たちの立ち位置を理解したうえで学習することができていた。

また、自分の考えを他者に対して伝え、考えを深めさせるための「対話的な学び」を意



2年生は、自分の考えを他者に黒板を使って説明した。



1年生は、自分の考えを2年生に聞いてもらうために、黒板を使って説明した。

識した。1年生については、児童が1名しか在籍していないため、2年生に説明を聞いてもらい、説明についての考えを聞かせてもらった。

ここでは、単元計画をもとに、前時で何を学んだのか、これまでと何が違うのか、次回何につながるのかなど、授業の始めと終わりでいねいに振り返ることが課題としてあげられた。

何時間目	かだい	学習でおこなうこと
2	図にかいて、どちらが長いかを考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・かだいをかく ・\square3のもんだいをとく(テープ図みたいな図にかいて) ・ともだちや先生に説明をする。 ・まとめをかく。 ・わかったか$\triangle 4$、$\triangle 5$のもんだいを、ノートに図をつけて考えたえをだして、田原先生が、ノートをみて丸つけをする。

2年生が自分たちで立てた学習計画

3 II教室(3・4年生)における授業研究(10月10日)

3年生は「何倍でしょう」、4年生は、「面積」についての授業を行った。

この授業では、「タブレット端末を効果的に活用した、思考力・判断力・表現力の育成」と「情報の取捨選択とまとめ方」に焦点を置いて授業を行った。学習の前に、右の「単元の学習計画」を立てた。(写真は4年生のもの)

学習のながみ(どんなことを学ぶか)	ページ	キーワード
① 広さのくらべ方を考えよう!	P2-3	面積 重ねる 数える
② 1辺が1cmの正方形何個かで面積を調べよう!	P4-5	1cm ²
③ 辺の長さに気をつけて面積を求めよう!	P6-7	たて・よこの長さ
④ 面積の公式が使えるように工夫して面積を考えよう!	P8-9	分ける・引く方法
⑤ 長さの単位がmの時の面積の表し方を考えよう!	P10	1m ²
⑥ たてとよこの長さがちがうときの面積を考えよう!	P11	1m ² は10000cm ²
⑦ 1m ² のいろいろなもののおおきさを調べよう!	P12	1m ² は10000cm ²
⑧ 長さの単位がkmの時の面積の表し方を考えよう!	P13	1km ² は1000000m ²
⑨ 面積の単位の関係について調べよう	P14-15	
⑩ 学びのまとめをしよう!	P16-17	

また、両方の学年とも、以下の「学習のながれ」

4年生の学習計画 右端はまとめの際に記入した「キーワード」

をベースにリーダーを中心に学習を進めた。

スライドリーダー学習のながれ

① 問だいをたしかめる

- ・問だいをノートにはる
- ・問だいをよむ
- ・分かっていることに赤線、聞かれていることに青線を引く。

② めあてを考える ★前時とのちがいをさがそう

- ・めあてをみんなで話し合う→きまったら先生に教えてね
- ・めあてをみんな読んで、ノートに書く

③ 問だいのとき方を考える

- ・ノートに自分の考えを書く(こまったらヒントカード!)
- ・ホワイトボードに考えをまとめる

④ 考えたことをこうりゅうする

- ・ホワイトボードやノートに書いたことをはびょうする
- ・友だちとにているところ・ちがうところを見つける

⑤ まとめを考える

- ・まとめを話し合ってきた。★なにがわかった?なにが大切?
- ・まとめをノートに書く

⑥ れんしゅう問だい

- ・時間をはかって、おわったらみんなで答え合わせをしよう!

⑦ ふりかえりをする

- ・ノートにできたこと・がんばったこと・むずかしかったこと・つぎがんばりたいことなどを書いてこうりゅうする。

児童に提示した「リーダー学習のながれ」

授業の始めに、「単元の学習計画」に基づいた「本時の学習内容」がGoogleスライドで提示される。(めあての部分は、児童が話し合って決めるため、空欄になっている。)

12月8日 何倍でしょう 18ページ

めあて

① 問だいをよんで、ノートにはる。計画をたしかめ、めあてを書く。

1 車の速さは4m走りました。客の速さは客の速の3倍、貨物の速は客の速の2倍走りました。貨物の速は何m走りましたか。

② 貨物の車の走ったきよりのもとめ方を考え、交流しよう。

今日はどんな図に表せるかな?

③ 新しいとき方について、どうしてその式でもできるのか話し合おう。

④ まとめ・ふりかえり

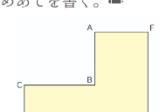
まとめ

12月8日 面積 8・9ページ

めあて

① 問だいをよんで、ノートにはる。計画をたしかめ、めあてを書く。

1 次の図形の面積を求めましょう。



② 図形の面積のもとめ方を考え、交流しよう。

今までにどんな公式が使えるようになったかな?

③ 新しいとき方について、どうしてその式になったのか話し合おう。

④ まとめ・練習問題・ふりかえり

まとめ

Googleスライドで提示した本時の学習内容(左 3年生、右 4年生)

次に、4年生は、これまでに学習してきた面積の求め方を生かして、各自が面積の求め方を考えた。3年生は、テープ図を使って、「a倍のb倍」の求め方を各自が考える。ここで、「問題から分かること」「聞かれている



こと」に線を引かせ「情報の取捨選択」を行う。こうすることで、問題解決の見通しを立てさせ、自分の考えをしっかりとまとめることができた。

問題に線を引かせ「情報の取捨選択」を行った

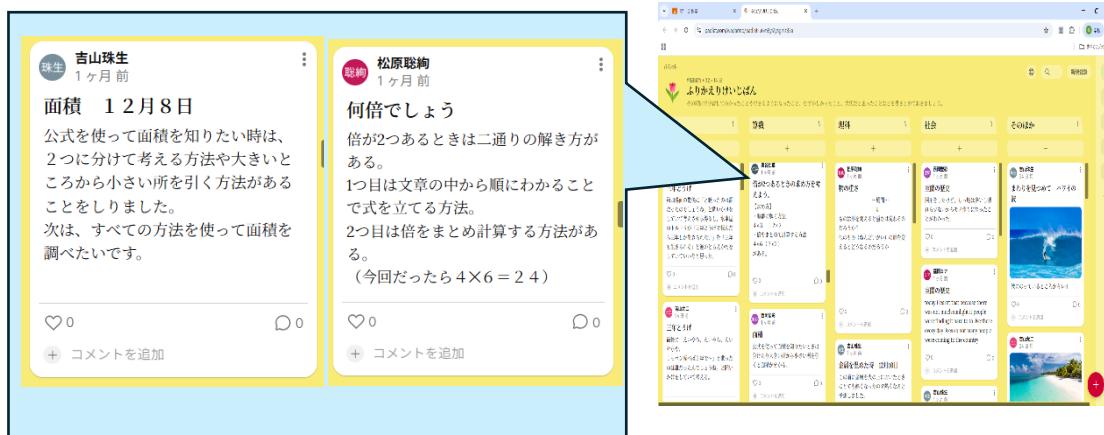
その後、リーダーを中心に、各自の考えを交流する。各自の考えがきちんとまとめられているため、それぞれが自信をもって説明をした。また、自分の考えと他者の考えが結びつき、より学びが深めることができた。



各自の考えの交流 (左 3年生、右 4年生)

それから、学年ごとに「本時のまとめ」を考える。このとき、学習計画右欄の「キーワード」も記入した。

最後に、Padletに「振り返り」を記入した。「振り返り」をきちんと次時につなげることで、学習を自分事とし、次時以降の授業の見通しをもたせることができた。



Padletによる振り返りの記録

IV 成果 (○) と課題 (●)

- 単元計画を自分たちで立てさせ、学習を自分事とすることで、授業の見通しをもたせることができた。
- 授業の最後に振り返りをさせることを通して、次時の主体的な学びにつなげることができた。この時、発達段階に応じて、Padletなどのアプリも活用することができた。
- 授業でずらしやわたりをあまり意識していないが、子どもたちが課題を自分のものにしていくと、授業が子どもだけですすむ。ICTがはいつてきてますます進めやすくなった。
- セルフプロデュースさせることで学習に取り組ませたが、複式学級でリーダー学習の場合、評価のタイミングが難しい。
- 児童数が少ない中で、対話する場面をどのように設定していくか。

- 「交流する場面」「一斉指導をする場面」などを、1時間の中に全て入れるのではなく、特化した時間を設定してもよいのではなかろうか。